

## 最近の機械貿易動向(12月)～機械輸出、二ケタ台の伸びに回復～

2011.2.17 日本機械輸出組合

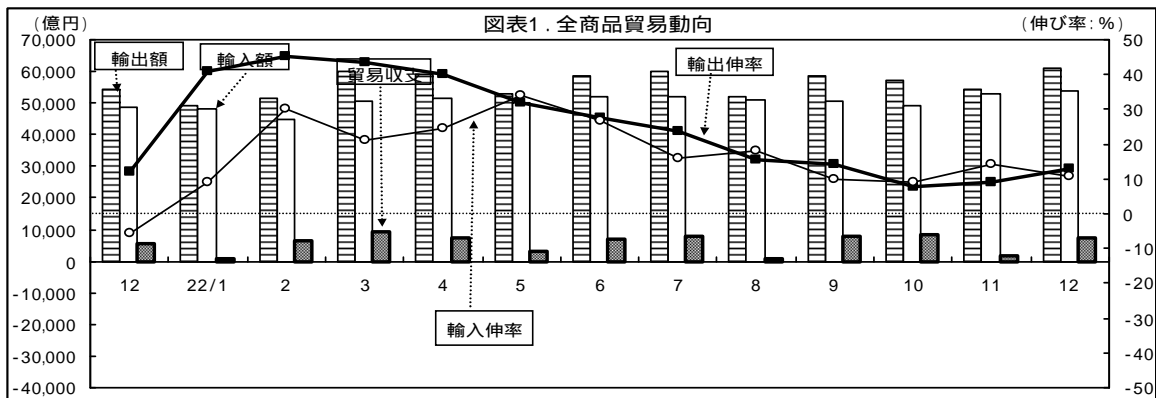
平成22年12月の機械輸出額は、3兆9,987億円、対前年同月比15.3%増と前月より拡大、2ケタ台の伸びとなった。これは、その他地域向けを除き全ての地域向けが2ケタの伸びとなり、特に北米、EU向けが回復したこと、機種では北米、中国、EU向けを中心に自動車再び二桁の伸びに回復したこと(13.9%増)、工作機械、産業用ロボット、半導体製造装置などが好調であったことが要因である。

平成23年1月の機械輸出は、対ドルレートで82.9円、対ユーロで109円の大幅な円高となり、円建輸出額では6.5%程度の減少要因となる。このため、実質伸び率を12月の19.5%増とすると、営業日は同じなので、前年比13%増程度の伸びになると予想される。

因みに、1月上中旬の全商品輸出額は6.7%増である。

### 1. 全商品貿易動向～貿易収支大幅増、マイナス(56.6%減)から一転33.4%増と高水準～

- ・平成22年12月の全商品輸出額は6兆1,123億円、前年同月比(以下同じ)12.9%増と3ヶ月ぶりの2ケタ台の伸びとなった(11月9.0%増)。商品別では、全輸出額の21%を占める一般機械が29.3%増と高い伸びを示した他、22%の輸送用機器(13.5%増)の増加が寄与した。
- ・輸入額は5兆3,865億円、10.6%増と前月をやや下回った。これは、27%の鉱物性燃料(5.7%増)が一桁台の伸びに鈍化したこと、8%の一般機械(11.0%増)が微減したこと、さらに3%の航空機等輸送用機器(7.4%減)がマイナスの伸び率になったことによるものである。
- ・この結果、12月の貿易収支は、輸出が伸び、輸入がやや伸び率を鈍化させたことで貿易黒字は33.4%増(7,259億円)と大幅に増加した。

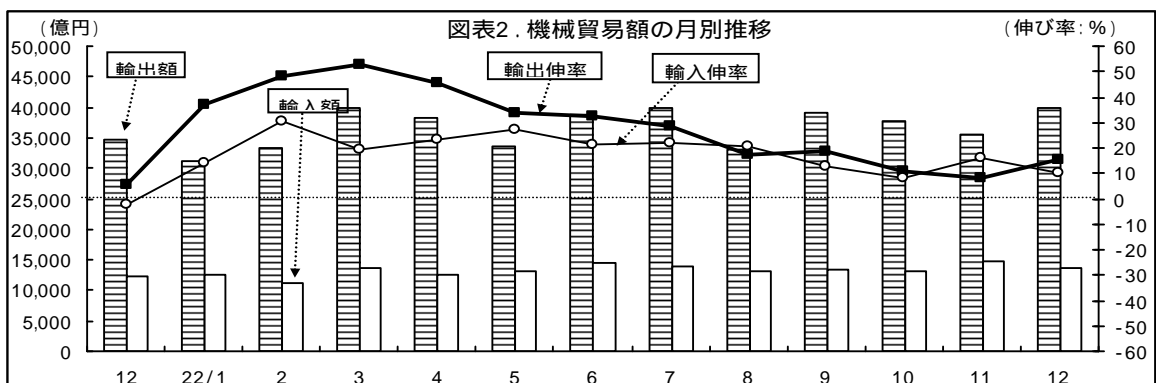


### 2. 機械貿易動向

#### (1) 機械輸出入動向～機械輸出 前月の一桁から2桁台に回復～

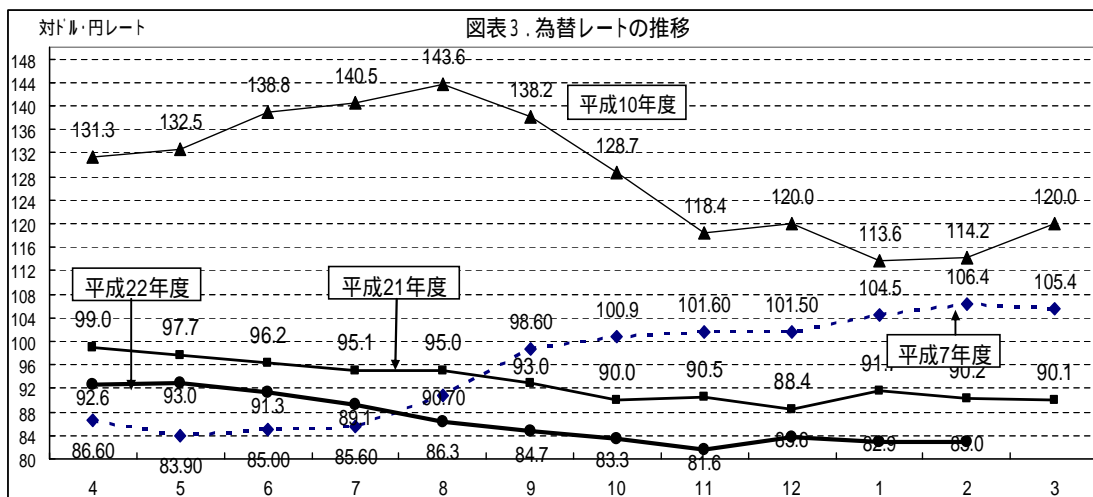
・全商品輸出額の65%を占める12月の機械輸出額は3兆9,987億円、15.3%増と前月より拡大した(11月8.4%増)。この輸出額はリーマンショック以前の07年12月の輸出額に比べ78%(11月70%)と前月から回復速度を上昇させた。

一方、全商品輸入額の25%を占める機械輸入額は、1兆3,672億円、10.1%増と2桁台を維持しているものの縮小させた(11月16.1%増)。輸入額はリーマンショック以前の82%と回復基調にある(11月84%)が、前月から鈍化した。



(2) 為替動向・営業日～対ドル・ユーロ高は12月は4.3%、1月は6.5%の円建減少要因～

- ・12月は1ドル=83.6円と円高がやや緩み前年比では5.5%の円高となった。対ユーロ=111.6円で15.1%の大幅な円高となった。この結果、営業日は同じなので円建輸出額では4.3%の減少要因となる。このため、12月の機械輸出伸び率は15.3%増であったが、実質伸び率は19.5%増となり11月より大幅に拡大した(11月9.6%増)。
- ・平成23年1月は1ドル=82.9円と前年が円安に動いたため前年比で9.6%の大幅な円高となった。対ユーロ=109円となり17.4%の大幅な円高となった。この結果、営業日は前年と同じであるので、円建輸出額では6.5%の大きな減少要因となった。
- ・2月は、対ドルが現状の83円とすれば8%の大幅な円高となり、対ユーロでも現状の113円とすれば10.4%の大幅な円高が続き、あわせて円建輸出額の5%の減少要因となる。営業日は前年と同じである。



(3) 地域別動向～その他地域向け除き、全ての地域向けで2桁台の伸び、米欧も回復傾向～

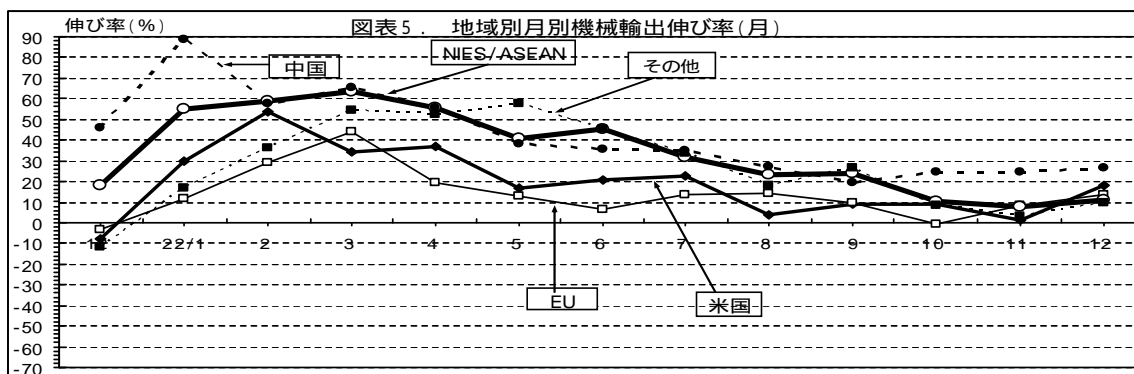
- ・12月は伸び率が回復したが、最も大きな伸びとなったのが機械輸出額の20.3%を占める中国向けで、機種では全体の19%を占める半導体製造装置等産業機械(58.8%増)、工作機械(2.8倍増)、自動車(21.4%)、陸用内燃機関(73.9%増)が好調で26.2%増と前月を上回った。次が、20.6%を占める北米向けで、業種では全体の半分を占める自動車(15.3%増)が前月のマイナスから大きく回復し、建設機械(4.1倍増)、半導体等製造装置(3.3倍)、工作機械(2.1倍増)も好調で、17.9%増と5ヶ月ぶりに2桁増となった。次が12.5%を占める欧州向けで、業種では全体の1/3を占める自動車(16%増)が続伸し、半導体等製造装置(3.7倍)、工作機械(2.1倍増)、建設機械(1.8倍増)も好調で、13.4%増と4ヶ月ぶりの2桁回復となった。次が27.9%と最大輸出地域のNIES/ASEAN向けで、輸出先では、インドネシア、マレーシア、タイ、香港、台湾向けが、業種では船舶、工作機械、乗用車、半導体製造装置等産業機械が伸び、11.2%増と2桁台に回復した。約20%のその他地域向けでは、ロシア・東欧(52.3%増)、インド(16.1%増)、アフリカ(11.8%増)向けが伸びたが、中近東、大洋州は前年比マイナスとなり、機種では、建設機械(77.5%増)、産業機械(16.1%増)等が増加したものの重電機(24.2減)等のマイナスが響き、9.3%増と僅かな上昇幅に止まった。リーマンショック以前の07年12月の輸出額と比較すると、中国向けが水準を超え、NIES/ASEAN向けが85%であったが、EU、その他地域向けは未だ50～60%台の水準である。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2010/10			2010/11			2010/12			対07年 12月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	37,816	10.5	100	35,390	8.4	100	39,987	15.3	100	0.78
北米	7,857	9.2	20.8	7,436	1.5	21.0	8,247	17.9	20.6	0.70
EU	4,685	0.6	12.4	4,630	8.7	13.1	5,009	13.4	12.5	0.59
NIES/ASEAN	10,701	10.3	28.3	9,928	7.9	28.1	11,161	11.2	27.9	0.85
中国	7,196	24.5	19.0	6,764	24.4	19.1	8,110	26.2	20.3	1.21
その他	7,377	8.2	19.5	6,632	3.0	18.7	7,460	9.4	18.7	0.67

中国は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。



図表6. NIES/ASEAN・その他地域向け機械輸出の推移(月別) (金額単位: 億円)

国名	2010/9		2010/10		2010/11		2010/12	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,967	19.3	1,784	1.4	1,737	2.1	1,957	7.4
台湾	2,073	35.3	2,031	19.0	1,846	10.7	2,032	10.2
香港	1,883	13.6	1,815	1.4	1,570	8.3	1,894	13.4
タイ	1,653	30.7	1,665	22.3	1,541	21.5	1,683	18.0
シンガポール	1,150	1.3	1,003	16.0	1,038	18.7	929	4.5
インドネシア	904	101.1	779	48.6	677	31.1	864	33.0
マレーシア	863	27.0	807	7.2	744	6.1	953	27.0
フィリピン	531	10.9	503	6.1	493	10.2	495	8.8
ハトナム	310	15.1	277	13.6	245	8.1	316	0.9
その他地域								
中南米	2,937	52.0	2,519	4.7	2,157	8.6	2,550	9.3
中近東	1,658	6.7	1,292	14.1	1,265	19.7	1,585	5.9
大洋州	1,362	26.6	1,172	0.9	1,018	0.4	965	7.2
ロシア東欧等	1,133	49.9	1,190	66.0	950	56.3	1,020	52.3
アフリカ	623	25.3	723	41.5	696	18.0	686	11.8
インド	416	41.0	434	30.1	422	33.5	476	16.1

中国は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4) 業種別動向 ~ 全 19 業種中 15 業種が前年比プラス、自動車は 2 ヶ月ぶりに 2 桁増 ~

・業種別では、全 19 業種中 15 業種が前年比プラス、うち 12 業種が 10%以上の伸びとなり、全体的に回復傾向にある。一方、マイナスは 3 業種で前月より 3 業種減少した。

全体の約 1/3 を占める自動車が 2 ヶ月ぶりに 13.9%増と二桁の伸びを示し、機械輸出を牽引した。高い伸びとなったのが、工作機械が 2 倍、繊維機械、建設機械、陸用内燃機関は 50%以上、産業車両は 44%、ベアリングは 33%、産業機械は 27.5%の増加となった。

一方、電子計算機(18.5%減)は 6 ヶ月連続で、通信機械(3.9%減)は 9 ヶ月連続で、民生用電子機械は 3 ヶ月連続でマイナスとなった。

・なお、07 年 12 月の輸出額と比較すると、リーマンショック以前の水準を超えたのは医療機械、ベアリングの 2 業種で、陸用内燃機関、光学機械、船舶、産業機械、工作機械は 90%台であったが、電子計算機、通信機械、民生用電子機械はまだ 40 ~ 50%台である。

図表7 上位19業種の輸出額の動き

(単位: 億円 %)

機種名	2010/10			2010/11			2010/12			対07/12比		
	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額		伸び率	シェア
自動車	11,895	8.2	31.5	自動車	11,522	4.0	32.6	自動車	13,005	13.9	32.5	0.71
産業機械	6,707	29.4	17.7	産業機械	6,305	21.0	17.8	産業機械	7,478	27.5	18.7	0.93
電子デバイス	3,433	1.9	9.1	電子デバイス	2,999	3.2	8.5	電子デバイス	3,353	0.0	8.4	0.77
民生用電子機械	2,180	9.2	5.8	民生用電子機械	1,891	11.0	5.3	民生用電子機械	1,868	2.8	4.7	0.57
軽電気機械	2,114	8.9	5.6	軽電気機械	1,871	7.5	5.3	軽電気機械	2,176	13.1	5.4	0.79
船舶	1,800	11.3	4.8	船舶	1,656	3.8	4.7	船舶	1,576	10.1	3.9	0.97
重電気機械	1,941	12.6	5.1	重電気機械	1,748	6.1	4.9	重電気機械	1,945	8.8	4.9	0.87
光学機械	1,202	2.6	3.2	光学機械	1,110	5.2	3.1	光学機械	1,315	13.2	3.3	0.98
軽機械	1,298	14.3	3.4	軽機械	1,176	18.8	3.3	軽機械	1,384	15.4	3.5	0.72
建設機械	960	65.5	2.5	建設機械	1,001	64.2	2.8	建設機械	1,243	55.9	3.1	0.80
電子計算機	597	12.2	1.6	電子計算機	496	22.2	1.4	電子計算機	543	18.5	1.4	0.49
通信機械	565	15.6	1.5	通信機械	530	9.0	1.5	通信機械	584	3.9	1.5	0.53
工作機械	631	122.4	1.7	工作機械	717	154.3	2.0	工作機械	787	109.1	2.0	0.91
ベアリング	389	35.9	1.0	ベアリング	360	35.1	1.0	ベアリング	408	33.2	1.0	1.15
陸用内燃機関	392	59.5	1.0	陸用内燃機関	361	62.0	1.0	陸用内燃機関	431	52.6	1.1	0.98
医療機械	317	2.3	0.8	医療機械	322	3.9	0.9	医療機械	373	1.5	0.9	1.72
繊維機械	210	67.0	0.6	繊維機械	193	63.6	0.5	繊維機械	223	58.6	0.6	0.77
農業機械	164	17.6	0.4	農業機械	146	10.0	0.4	農業機械	171	3.1	0.4	0.71
産業車両	128	37.7	0.3	産業車両	129	46.4	0.4	産業車両	140	44.0	0.4	0.61
19業種合計	36,923		97.6	19業種合計	34,533		97.6	19業種合計	39,003		97.5	0.77

は2ヶ月以上連続で10%以上増加、民生用電子機械: デジカメ、TV、部品、電子計算機: パソコン、HDD、プリンター等部品  
軽電気機械: 白物家電、電子計測器、軽機械: 分析器、光学機械: 光学材料、カメラ。

(5) 機種別動向 ~ 工作機械 2 倍増、産業用ロボット、半導体製造好調、電算機 3 ヶ月連続マイナス ~  
・伸び率上位機種は、中国、北米、ASEAN 等全世界向け工作機械(2 倍)、北米、中国、EU 向け産業用ロボット(74.3%増)、韓国・台湾、中国、北米向け半導体等製造装置(66.6%増)、中国、その他、韓国・台湾向け繊維機械(58.6%増)、その他地域、ASEAN 等建設機械(55.9%増)、北米、韓国・台湾、中国向け電子応用装置(55.7%増)、中国、北米、EU 向け陸用内燃機関(52.6%増)、その他、ASEAN 向け産業車両(44.0%増)、中国、EU、ASEAN、北米等全世界向けベアリング(33.2%増)、中国、ASEAN、韓国・台湾、北米向け等電気・電子計測器(32.1%増)などである。  
一方、最も落込み幅が大きいのが、据置型 VTR(32.3%減)、電子計算機(18.5%減)であった。

図表8. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率、10機種以内)

(単位: 億円)

機種名	2010/10		機種名	2010/11		機種名	2010/12	
	金額	伸び率		金額	伸び率		金額	伸び率
工作機械	631	122.4	工作機械	717	154.3	工作機械	787	109.1
産業用ロボット	95	116.8	産業用ロボット	87	91.8	産業用ロボット	96	74.3
半導体等製造装置	1,458	100.3	半導体等製造装置	1,414	70.5	半導体等製造装置	1,751	66.6
繊維機械	210	67.0	建設機械	1,001	64.2	繊維機械	223	58.6
建設機械	960	65.5	繊維機械	193	63.6	建設機械	1,243	55.9
陸用内燃機関	392	59.5	陸用内燃機関	361	62.0	電子応用装置	65	55.7
産業車両	128	37.7	産業車両	129	46.4	陸用内燃機関	431	52.6
ベアリング	389	35.9	電気・電子計測器	374	37.5	産業車両	140	44.0
電気・電子計測器	412	35.8	ベアリング	360	35.1	ベアリング	408	33.2
時計	104	26.4	分析・試験・検査機	645	21.5	電気・電子計測器	423	32.1
機種合計	4,779	12.6%	機種合計	5,281	14.9%	機種合計	5,567	13.9%

は、2ヶ月連続で上位機種・機種合計の%は輸出額に占める割合

図表9. マイナス伸び率上位機種(月3億円以上、10%減以上、10機種以内)

(単位: 億円)

機種名	2010/10		機種名	2010/11		機種名	2010/12	
	金額	伸び率		金額	伸び率		金額	伸び率
携帯電話	3	43.3	発電機	118	53.0	据置型 VTR	9	32.3
ラジオ	11	26.1	電子計算機	496	22.2	電子計算機	543	18.5
デジカメ	802	16.8	デジカメ	764	19.1			
電子計算機	597	12.2						
船舶	1,800	11.3						
TV	106	10.5						
機種合計	3,319	8.8%	機種合計	1,378	3.9%	機種合計	552	1.4%

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 \*機種合計の%は機械輸出額に対する割合

(6) 機械輸入動向～12月は10.1%増と伸び率は縮小、TVは大幅に縮小、白物、光学機械鈍化

・12月の機械輸入額は10.1%増とやや伸び率を縮小させた。その要因は、航空機(46.2%減)が大幅に落ち込んだこと、輸入の約5.2%を占めるTVが74.7%増と前月の2.5倍増から大幅に縮小したこと、二大輸入機種の電子計算機、パソコンが1ケタの伸びに止まっていることによる。一方、携帯電話(51%増)は再び高い伸びとなった。

なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は、電子計算機、TV、携帯電話、白物家電、エアコン、ラジオ、時計、医療機器となっている。

・地域別機械輸入額は、全体の40%と最大の輸入先の中国(21.6%増)、ASEAN(14.5%増)、韓国・台湾(9.1%増)、EU(4.1%増)、北米(12.2%減)の順となっている。

図表10. 機械輸入額上位12機種

(単位:億円、%)

2010/10				2010/11				2010/12			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	1,807	10.8	13.7	電子デバイス	1,726	4.7	11.8	電子計算機	1,712	7.9	12.5
電子計算機	1,589	3.7	12.0	電子計算機	1,601	6.6	10.9	電子デバイス	1,553	6.6	11.4
重電気機械	606	9.3	4.6	TV	850	154.6	5.8	TV	709	74.7	5.2
自動車部品	589	9.2	4.5	重電気機械	670	6.8	4.6	重電気機械	609	9.8	4.5
TV	559	115.4	4.2	自動車部品	662	10.1	4.5	自動車部品	603	13.7	4.4
携帯電話	467	90.7	3.5	乗用車	590	9.4	4.0	乗用車	583	14.9	4.3
白物家電	432	3.4	3.3	白物家電	565	22.0	3.9	白物家電	500	17.0	3.7
乗用車	431	25.3	3.3	医療機器	457	10.3	3.1	携帯電話	435	51.0	3.2
医療機器	421	1.3	3.2	携帯電話	404	23.2	2.8	医療機器	431	12.2	3.2
民生電子部品	381	13.1	2.9	光学機械	382	17.7	2.6	光学機械	333	2.5	2.4
航空機	366	48.5	2.8	航空機	365	21.1	2.5	民生用電子部品	330	6.8	2.4
光学機械	312	1.5	2.4	民生用電子部品	347	11.8	2.4	航空機	286	46.2	2.1
12機種合計	7,960		60.4	12機種合計	8,272		56.4	12機種合計	8,084		59.1

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。白物家電:民生用電気機械

以上